

修士論文（要旨）

2011年1月

国語教科書を使用した日本語教育  
—ブラジルの年少日本語学習者を中心に—

指導 佐々木倫子 教授

言語教育研究科

日本語教育専攻

209J3003

島田美幸

## 目次

第1章	はじめに	
1.1	研究の背景	1
1.2	研究動機	2
1.3	研究目的	2
1.4	言葉の定義	3
第2章	先行研究	
2.1	日系ブラジル人と日本語・日本語教育	4
2.2	年少者における継承日本語教育	4
2.3	子どもに関する教育観	4
2.4	時代の変化による教科書の変遷	5
第3章	調査概要	
3.1	調査方法と内容	7
3.2	調査対象校 O 学院と S 学園の概要	7
3.3	O 学院と S 学園の授業概要	11
3.4	インタビュー調査協力者の概要	14
3.5	文字化の規則	17
第4章	調査結果	
4.1	授業の参与観察	18
4.2	インタビュー	23
第5章	考察	
5.1	生徒の意識	46
5.2	保護者の意識と教育観	48
5.3	教師の意識と教育観	50
5.4	国語教科書を使用した新しい指導方法のために	52
第6章	新しい指導方法の提案	
6.1	国語教科書を使用した新しい指導方法の提案	54
6.2	テーマ学習	54
6.3	指導案	56
6.4	おわりに	61
	謝辞	
	参考文献	
	資料	

## 要旨

本研究は、国語教科書を使用して日本語教育を行っているブラジル国・サンパウロ市の O 学院・S 学園において、授業の参与観察、生徒・保護者・教師へのインタビュー調査に基づくものである。調査結果から、O 学院・S 学園の保護者や教師は、子どもたちが使用する教科書として国語教科書が適していると考えていることが分かった。そのため、稿者は今後の教育への提案として O 学院・S 学園ではこれからも国語教科書を中心とした日本語教育が必要だと考え、新しい指導方法である「国語教科書を使用したテーマ学習」をまとめた。

「ブラジルで日本語を教えるのにどうして日本の国語教科書を使用するのか。」これは、大学 3 年次に経験した 1 カ月間のブラジルでの日本語教育実習から生まれた疑問である。実習を進めていく中で国語教科書使用には移民の歴史や教師の教育観が深く関わっていることに気付いた。また、実習中に他の学校の日本語教師に会った時も、「まだ国語教科書を使っているなんてめずらしい学校ですね。」「あそこの学校の先生ははっきりとした考え方をもちだから。」などと、学校や教師の特殊性が指摘された。このような出来事が国語教科書使用による日本語教育に興味を抱くきっかけとなり、本研究を志した。

本研究の目的は(1)国語教科書使用に対する教師の意識や教育観を明らかにすること、(2)国語教科書を使用して日本語を学んでいる子どもたち、またその保護者の意識を明らかにすることである。(1)、(2)を明らかにするために、調査としては、授業の参与観察、インタビューを採用した。(1)、(2)を分析した結果から(3)国語教科書使用が子どもたちに与える影響を明らかにし、国語教科書による新しい指導方法を探ることにした。

参与観察は主に教師 BTF1 の担当する授業に参加した。インタビュー調査では、生徒 2 名、保護者 2 名、教師 1 名に協力を得ることができた。生徒は O 学院で学んでいる BSF1、O 学院を卒業し S 学園で学んでいる BSM2 の 2 人、保護者は子どもが O 学院を卒業し、S 学園で継続して学んでいる BPF1、BPF2、教師は S 学園園長であり、O 学院理事の BTF1 の各氏である。

調査対象校は O 学院・S 学園である。O 学院は学校教育機関であるが、S 学園は学校教育機関ではない。日本語科の教師は共通している。この学校の日本語の授業は教師 BTF1 が中心に行っている。提携校である東京都の総合学園の創始者、小原國芳が提唱した全人教育を O 学院・S 学園の教育理念としている。

参与観察の結果では、個別学習に近い複式授業を行っていることが明らかになった。また、「BTF1 のお話」、子どもたちのやる気を引き出すための「シール・ご褒美」、計画表に書かれている項目を終えた後にする「確認作業」を授業の特徴として挙げた。参与観察からみえた課題は、(1)計画表に代わる指導方法、(2)会話能力の育成の 2 点だと考えられる。

インタビューの結果として、生徒間では、①日本語を勉強する場所は学校に限られていること、②言語学習は保護者からの影響を受けていること、③SNS を活用していること、以上 3 点が共通していることが分かった。また、保護者間では、①国語教科書を日本語の授業に使用して欲しいと考えていること、②子どもを全日制の学校に通学させたいと考えていること、③日本の童話やポップカルチャーに触れて欲しいと考えていること、④異文

化に触れて欲しいと考えていること、⑤学校行事に積極的に参加していること、⑥学校を選ぶ際に、日本語の授業があるところを希望したこと、以上6点が共通していることが分かった。さらに教師は、教育観・教科書観・授業に対する意識・言葉に対する意識・子どもに対する意識・その他の考えを持ち合わせていることが分かった。

調査結果から、O学院・S学園の日本語授業で必要なことは、①教師が計画を管理すること、②国語教科書を使用したテーマ学習を行うこと、③インターネットやSNSを利用すること、④異能力混在型のグループを設定すること、⑤授業内でポルトガル語使用を禁止しないことの以上5点である。

結果を受け、新しい指導方法として、国語教科書を使用したテーマ学習を提案した。この指導方法を取り入れるために、日本の小学生に対して行われている「総合的な学習の時間」を参考にした。また、学習経験を重視するべきだと考え、生徒自身の経験を生かしたものをテーマとして設定した。さらに、グループ学習をすることによって、協働学習の効果を期待できると考える。評価として、ポートフォリオ評価を取り入れ、そのために必要とされる教師の「評価規準」と「評価基準」を設定した(佐藤ほか、2002)。ポートフォリオを用いることによって、子どもたち、保護者、教師が到達目標に向かっていく過程を目に見える形で共有し、子どもたちの学びを支えられるのではないかと考える。

## 参考文献

- 岡崎眸(1999)「学習者と教師の持つ言語学習についての確信」宮崎里司ほか(編)『日本語教育と日本語学習－学習ストラテジー論に向けて－』くろしお出版, 147-158.
- 佐々木倫子(1996)「ブラジル人の日本語環境」国立国語研究所『日本語と外国語との対照研究Ⅲ日本語とポルトガル語(1)』くろしお出版, 94-122.
- 佐藤真・奈良県斑鳩町立斑鳩東小学校(2002)『「総合的学習」の評価基準をどうつくるか』学事出版
- 佐藤学(2000)『授業を変える 学校が変わる』小学館
- 佐藤学・和歌山大学教育学部附属小学校(2009)『質の高い学びを創る授業改革への挑戦－新学習指導要領を超えて－』東洋館出版社
- 中島和子(2003)「継承日本語学習者の漢字習得と国語教科書」桜美林大学院国際学研究所『桜美林シナジー』第1号, 1-21.
- 浜本純逸(2008)『国語科教育の未来へ－国語科・日本語科・言語科－』溪水社
- 箕浦康子(編著)(2009)『フィールドワークの技法と実際Ⅱ－分析・解釈編－』ミネルヴァ書房
- 森幸一(2004)「ブラジル日系人の「日本語」を巡る状況と言説－1908年から1980年代末まで－」工藤真由美『ブラジル日系社会言語調査報告 大阪大学大学院文学研究科紀要 モノグラフ編』第44巻, 123-161.

## 参考 URL

- サンパウロ新聞(2010a)「第2回日系コロニア、日系人の定義」  
< <http://www.saopauloshimbun.com/index.php/conteudo/show/id/1966/menu/37/cat/126> >  
(2010年12月11日検索)
- サンパウロ新聞(2010b)『サンパウロ新聞特別企画 日系コロニアの将来を考える 第3回「日本語教育の将来を考える」① 基調講演 サンパウロ大学文学部教授 モラレス松原礼子』  
< <http://www.saopauloshimbun.com/index.php/conteudo/show/id/1967/menu/37/cat/126> >  
(2010年12月13日検索)
- ニッケイ新聞 古杉征己記者(2004)コラム『教科書 時代を映して変遷(1)～(終)』  
< <http://www.nikkeishimbun.com.br/040414-62colonia.html> > (2010年7月1日検索)
- ニッケイ新聞 アンドウ・ゼンパチ(2010)連載「第16回 コロニアの日語読本編集」『二世とニッポン語問題 －コロニアの良識にうったえる－』  
< <http://200.218.30.171/nikkei/html/show/100310-62colonia.html> > (2010年12月14日検索)
- 文部科学省(2008)「第5章 総合的な学習の時間」『新しい指導要領』  
< [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/youryou/syo/sougou.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/syo/sougou.htm) >  
(2010年12月21日検索)